

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2022年 5 月12日

【会社名】 東京センチュリー株式会社

【英訳名】 Tokyo Century Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 馬場 高一

【本店の所在の場所】 東京都千代田区神田練塀町 3 番地

【電話番号】 0570 (084) 390 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 常務執行役員
経営企画部門長 兼 経理部門長 平崎 達也

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区神田練塀町 3 番地

【電話番号】 0570 (084) 390 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 常務執行役員
経営企画部門長 兼 経理部門長 平崎 達也

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)
東京センチュリー株式会社 大宮支店
(埼玉県さいたま市大宮区錦町682番地 2)
東京センチュリー株式会社 横浜支店
(神奈川県横浜市西区北幸二丁目 8 番 4 号)
東京センチュリー株式会社 名古屋営業部
(愛知県名古屋市中区栄二丁目 1 番 1 号)
東京センチュリー株式会社 大阪営業部
(大阪府大阪市中央区本町三丁目 5 番 7 号)
東京センチュリー株式会社 神戸支店
(兵庫県神戸市中央区三宮町二丁目 5 番 1 号)

(注) 上記の神戸支店は、金融商品取引法に規定する縦覧場所ではありませんが、投資者の便宜を考慮して縦覧に供する場所としております。

1【提出理由】

当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生日

2022年5月12日

(2) 当該事象の内容

当社の連結子会社であるAviation Capital Group LLC（米国・カリフォルニア州 以下 ACG）が保有するロシアの航空会社向けリース機体を対象に、2023年3月期に特別損失（減損損失）を計上する見込みとなりました。

(3) 当該事象の連結損益に与える影響額

ACGは、ロシアの航空会社向けに約6億ドル（2022年3月末時点 リース機体8機、融資・融資保証の合算）のエクスポージャーを有しておりますが、リース機体8機につきましては、将来キャッシュ・フローの見積りが困難となったため、帳簿価額の全額である約460億円（約3.8億ドル 1ドル120円で換算）を減損損失に計上する見込みであります。

なお、ACGの決算日は12月31日であることから、当該損失は、2023年3月期の連結財務諸表に特別損失として反映されることとなります。

また、ACGは当該エクスポージャーに対してこれをカバーする保険を付保しており、保険会社に対する請求権も行使済みであります。